



KAWAMOTO GORO



染付色絵八角舞女壺



色絵銀彩歌垣飾壺



色絵染抜草花文飾皿



色絵繚乱

河本五郎展

同時開催 河本太郎展

2004.4.1[木]～6.30[水]

開館時間 = 9:30～17:30(入館は17:00まで)

年中無休(但し12月28日～1月1日を除く)

入館料 = 一般1,000円(4枚セット券3,000円) / 大学生800円

高校・中学生500円 / 小学生以下無料

後援 = 朝日新聞社

〒510-1245 三重県三重郡菰野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.0593-91-1088 Fax.0593-91-1077

<http://www.paramitamuseum.com> Email=office@paramitamuseum.com

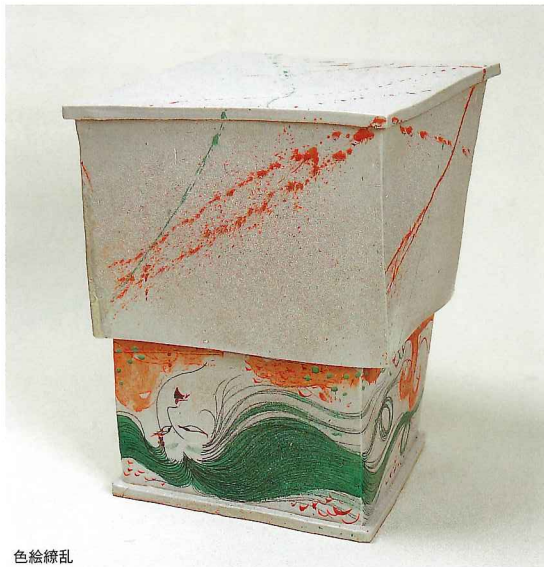
河本五郎展

同時開催 河本太郎展

2004.4.1[木]～6.30[水]

瀬戸の伝統染付の家に生まれた河本は受け継いだ轆轤成型による作陶を30代で捨て、手捻りによる制作を追究しました。土の素材感を引き出しながら、独自の個性的な造形を目指した作風は、現在でも海外での評価が高く、時代を先取りした造形感覚が河本に「反骨」の異名を冠しました。伝統的な技法に反逆した河本はまた、色絵の名手でもありました。その自在な筆運びと色使いからは、フォービズムの絵画に通じる本物の軽やかさが感じられます。今回は俑から色絵陶筐まで変幻自在な河本作品の魅力をさぐります。

また隣り合った2Fギャラリーでは、長男河本太郎の洗練された現代感覚あふれる陶彫を展示します。父五郎の時代に対する革新性と、その精神を受け継いだ河本太郎の現代性を同時に展示し、その意味を問います。



色絵線乱



色絵女人壺



銀彩魚文花入



染銀彩歌垣方壺

交通機関

[自動車] 東名阪[四日市I.C.]より国道477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km 無料駐車場(普通車100台、大型バス駐車可)

[電車] 近鉄[四日市駅]下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車。西へ300m

全館バリアフリー対応

問合せ先: Paramita Museum

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.0593-91-1088 Fax.0593-91-1077

<http://www.paramitamuseum.com> E-mail=office@paramitamuseum.com

